

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名：夢門塾ゆうゆう総社

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	2		2	運動によっては、少し運動室が狭い。1階と2階に分かれて運動している。
	②	職員の配置は適切である			4	他事業所から応援に来てもらっている。
	③	衛生面の管理が行き届いている		4		日々の掃除はしているが、おもちゃなどの除菌が頻繁に行われていない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している			4	計画作成時のみしか出来ていない。今後は定期的にかンファレンスを行っていく
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている		4		今回が初めての為、これより改善に繋げる。
	⑥	自己評価の結果を公開している			4	今年度より公開する。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している		2	2	市内の研修へ行き学ぶ機会を作るようにし記録を残し全員で周知する。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			エリアミーティング時に共通化したシートを使い職員全員が記入する。それぞれの意見と保護者、相談支援員とのモニタリングを元に計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	2	2		職員間で情報共有が足りていない時がある為パートも含め行う時間を作る。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している		4		現在は一部しか工夫出来ていない為、個々で情報を集めシェアする。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			早めにおおよその計画を立て見通しをつける。長期休暇は普段出来ないことを目的と共に考え実行する。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			それぞれ個々に合わせた活動に取り組めるように工夫をしている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		4		日々打ち合わせは出来ていない。少しでも時間を作る。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			退勤前に少し振りかえりをしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている		4			

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			行事予定、下校時間等保護者様より学校プリントのコピーを頂くようにしている。また、支援のため学校、各事業所、相談支援員、保護者とのケース会議へ参加。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている		4		保育所、幼稚園、こども園との連携はないが、児発からは情報共有をお願いする場合あり。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している			4	該当者なしのため。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			支援専門員から助言をもらい、情報共有できる場へも出席するようにしている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			連絡帳でのお伝えだけでなく、送迎時にもお伝えするようにしている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			契約時に細かく説明している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3	1		その都度保護者様に合わせて応じている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している			4	コドモン説明で保護者会実施したのみ。来年度は参加型レクリエーションを計画する。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			苦情があった場合、すぐ職員間で確認をとり、迅速に対応その後再発に防止につとめ話し合う。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	2	2		月1のおたよりが2か月まとめてになってしまっている。今後月1に発行する。
	㉗	個人情報に十分注意している	4			
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		2	2	近隣の体育館で行われる運動会に参加。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4			
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			年2回の避難訓練と消防署見学・体験へ2度参加。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			全員で虐待防止研修に参加。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			契約時に説明しているが、支援計画へ記載はしていない。身体拘束を行わなくていいよう支援活動に工夫をしている。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			契約時に説明し、配布している。使用された方へは再配布するようにしている。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			対応者が記入し、共有している。